



三重陸協たより

三重陸協広報部発行

第4号

平成17年7月23日

房総の夏に 輝け 三重の高校生アスリート！

8月2日(火)～6日(土)、千葉県総合スポーツセンター陸上競技場で、秩父宮賜杯 第58回全国高等学校陸上競技対校選手権大会が開催されます。今年の三重県選手団は、活躍が期待される選手が多く、大会スローガン「輝きを胸に 夢をその手に 房総の夏」のように、大きな夢をつかんで千葉できらめいてくれることと思います。

千葉インターハイ 参加選手

【男子】100m	吉村 純平(宇治山田商)
200m	長谷川 健(名張桔梗丘)
1500m	高林 祐介(上野工)
5000m	高林 祐介(上野工), 山本 庸平(上野工), 水越 智哉(四日市工)
3000mSC	一尾 恭兵(四日市工)
4×100mR	宇治山田商 吉村 純平・松本 和平・天白 雄也 松原 剛士・橋本 訓人・高橋 克己
棒高跳	黒岩 宏光(宇治山田商)
走幅跳	田島 祥吾(宇治山田商), 前出 卓也(四日市工), 伊藤 優司(桑名) 松本 龍(桑名)
三段跳	山本 格(宇治山田商), 松本 龍(桑名)
砲丸投	南 幸裕(宇治山田商), 谷 健太朗(宇治山田商), 大山 祐史(伊勢工)
円盤投	南 幸裕(宇治山田商), 片山 瞬太(宇治山田商), 大山 祐史(伊勢工)
やり投	片山 瞬太(宇治山田商)
ハンマー投	中井 伸悟(南伊勢)
8種競技	伊藤 優司(桑名)
【女子】100m	筒井 美帆(皇學館)
200m	筒井 美帆(皇學館)
400m	高橋 香央里(津商)
800m	小坂 奈央(津商)
1500m	小坂 奈央(津商)
400mH	高橋 香央里(津商)
4×100mR	津商 高橋香央里・伊藤 志帆・森田由利恵 一尾 彩加・服部江里加・横山あかね 皇學館 筒井 美帆・伊藤 美歩・中田 好美 花井理映子・東岡 美月・入山 怜紗
走高跳	藪根 ゆい(近畿大高専)
走幅跳	寺田 祐子(宇治山田商), 遠藤 桃子(桑名), 太田 愛実(神戸)
砲丸投	倉田 実奈(宇治山田商), 茂山 千尋(宇治山田商)
円盤投	大田 祐子(宇治山田商)
やり投	倉田 実奈(宇治山田商), 佐野 琴菜(津商)
7種競技	小林 彩乃(松阪)

第21回 日清カップ 全国小学生陸上競技交流大会 三重県代表選手

8月26日(金)～28日(日), 国立競技場で開催されます。小学生の活躍が楽しみです。

【男子】

5年100m 愛敬彰太郎 (大山田AC)
6年100m 福積 昌人 (大山田)
80m H 山田 卓哉 (川越陸上少年団)
走 高 跳 山本 悠介 (南勢町AC)
走 幅 跳 田中 弦 (南勢町AC)
4×100m R 南勢陸上クラブ
野村 卓矢
曾根 啓登
中西 太一
大仲 洋人
宮村 捷也
ボール投げ 松井 建太 (宮川)

【女子】

5年100m 森本 真由 (内城田SC)
6年100m 岡村 祐歩 (川越陸上少年団)
80m H 和田見 蒔 (鈴鹿AC)
走 高 跳 矢野こころ (内城田SC)
走 幅 跳 高松 麻紀 (南勢町AC)
4×100m R 南勢陸上クラブ
井村 智映
橋爪 咲奈
中西あかね
西村 美佑
奥田 幸世

競技場にこの人あり

～感謝の気持ちがなければならぬ～

S級審判員 出発係 石田 信治さん

「じいちゃん」の愛称で親しまれている石田さんにスポットをあててみました。

石田さんは1928年、鈴鹿市神戸に生まれました。小学生の頃から足が速く、リレーメンバーとして大会で優勝したのをきっかけに、陸上競技を始めました。18歳～24歳までは九州の日炭高松鉱業所で長距離ランナーとして活躍されました。結婚され三重県に戻ってから3年間ぐらい休まれた後も、「四日市ランニングクラブ」に入り、ローカル大会を中心に参加されたりしていました。そして、45歳からは競歩も始められました。

自分で競技を続けるかたわら、昭和58年三重県選手権1500m優勝の菅瀬薫選手(暁高校)などの面倒を見られるようになりました。この頃は、暁高校や四日市商業の女子長距離選手のよき相談役として親しまれていました。高校女子駅伝が始まった頃、「おっちゃん」一緒に写ろうという生徒たちに対して「自分は顧問ではないので」ということで、新聞のチーム紹介に出ようとしないう石田さんのことが新聞に取り上げられました。その時の新聞記事を大切にバックから取りだし、うれしそうに話していただきました。また、この頃から審判も始められました。

どの競技会でも、ほとんど休まず審判をされ、朝も早く競技場に元気な姿を見せてくださいます。そういった元気の秘訣は「気持ちを若くもつこと」「動くこと」だそうです。現在も製材技師の資格をもたれ、まだまだ現役で活躍されています。そしてモットーは「感謝の気持ちがなければならぬ、そしてお金ではなく、人のためになることをすること」だそうです。石田さんからは、たくさんのお話を学ばせていただき、また楽しいお話も聞かせていただきました。きっと、競技場で声をかけると、もっと楽しい話を聞かせていただけることと思います。



日本学生対抗選手権選手権 隈元康太 (日体大) 選手 優勝

110m Hで13秒91 (-1.2) の三重県新記録 樹立